



教職員による学校自己評価と保護者・児童アンケート集計結果(中間)

学校評価のアンケートのご協力ありがとうございました。4月から9月までの本校の取組を振り返り、よりよい学校を目指すため、学校自己評価を実施しました。その結果は、以下のようになりました。これらの結果を踏まえ、改善策について教職員で話し合いました。また、学校評議員の方からのご意見・ご指導もいただきました。後期の教育活動につなげていきたいと考えています。よろしくお願いたします。

※ 「よくあてはまる」を4点、「ややあてはまる」を3点、「あまりあてはまらない」を2点、「まったくあてはまらない」を1点とし、各項目の平均値を算出したものです。2.5ポイントあれば平均以上と捉えています。

アンケート回収率:72.5%

学校自己評価			保護者アンケート			児童アンケート			
ひ 人に優しく	1	学校は、子どもが進んで挨拶ができるように指導している。	3.1	1	子どもは、進んで挨拶をすることができている。	2.9	1	進んであいさつができていますか。	3.3
	2	学校は、子どもが毎日の学習や生活において、自らの取り組みを振り返ることができるように指導している。	3.2	2	子どもは、毎日の学習や生活で、自らの取り組みを振り返ることができている。	2.8	2	学習や生活で、自分の取り組みを振り返ることができていますか。	3.1
	3	学校は、子どもが進んで友達のよいところを見付けることができるように指導している。	3.1	3	子どもは、進んで友達のよいところを見付けることができている。	3.2	3	進んで友達のよいところを見付けることができていますか。	3.3
び 美(言葉・環境・心)	4	学校は、子どもが優しい言葉を掛け合うことができるように指導している。	3.2	4	子どもは、友達に優しい言葉を掛けることができています。	3.2	4	友達に優しい言葉をかけることができていますか。	3.4
	5	学校は、子どもの手洗いや歯磨きを通して、健康で清潔な生活ができるよう指導している。	3.3	5	子どもは、手洗いや歯磨きをし、健康で清潔な生活をする事ができている。	3.4	5	手洗いや歯磨きをし、健康で清潔な生活をする事ができていますか。	3.5
	6	学校は、体育の授業をはじめとした学校生活を通して、進んで運動することができるよう指導をしている。	3.3	6	子どもは、体育の授業をはじめとした学校生活を通して、進んで運動することができる。	3.2	6	体育の授業や休み時間に、進んで運動することができますか。	3.2
つ つながりを大切に	7	学校は、ナゴヤ学びのコンパスに示された学びの姿を意識し、特に多様な人と学び合う学習を行っている。	3.2	7	子どもは、多様な人と学び合う学習をすることができている。	3.0	7	いろいろな人と学び合うことができていますか。	3.2
	8	学校は、子どもが異学年交流を行うことができるように指導している。	3.3	8	子どもは、他学年の児童と関わることができている。	3.1	8	他の学年の友達と関わることができていますか。	3.3
	9	学校は、子どもが友達や教師の話を進んで聞くことができるよう指導している。	3.3	9	子どもは、友達や教師の話を進んで聞くことができています。	3.1	9	友達や先生の話を進んで聞くことができていますか。	3.3

アンケート内容について

本年度から、学校教育目標が大きく変わりました。ひ「人に優しく」、び「美(言葉・環境・心)」、つ「つながりを大切に」の三つの柱から、それぞれに質問項目を設定しました。

学校自己評価とアンケートの結果を踏まえて

質問1～9のうち、児童・保護者ともおおむね3.0ポイント以上の評価をいただきました。子どもたちが楽しく登校し、学習を頑張っていることが分かります。様々なご意見もいただきました。次ページより一部をご紹介します。

保護者アンケートのご意見から

<挨拶について>

- ・先生や、毎朝見守りをしてくださる地域の方に、挨拶をする習慣をもっとつけて欲しいです。
- ・分団登校で付き添ってくださる方にも学校に着いたらお礼の挨拶があるといいと思います。
- ・交通指導員さんや、登下校を見守ってくださっている地域の方への「おはようございます」「さようなら」の挨拶はきちんとした方が良くと思います。

昨年度までもよく話題に上る事柄です。元気のよい挨拶ができるように、各学級でも、まず職員から子どもたちに挨拶をして指導しています。地域の方や、見守りの方にも、気持ちのよい挨拶ができるように、学校と家庭とで一緒に子どもたちに声掛けしていきましょう。

<学習について>

- ・他学年の子と遊ぶきっかけや機会が作れたらうれしいです。
- ・子どもたちが参加できる体験学習や社会勉強の機会を増やしてほしいです。
- ・挑戦して失敗する→何度かやって成功する、そんな経験をさせたいです。
- ・意見を言ったり、友達と話し合ったりする時間を、もっと授業の中に取り入れて欲しいと思います。
- ・学びっぱなしになっていて、振り返る事が出来ていないので定着していないと感じます。
- ・学期始めの短縮授業期間が長く、行事の縮小や消滅が進むことが残念です。行事を経験する、楽しいと体感することも子どもにとっては大切な学びになると思います。
- ・上の子の時に比べて、宿題が少ないような気がします。学習面で、漢字や計算などの定着ができていないようで心配しています。



昨年度から学校努力点として「ナゴヤ学びのコンパス」に基づいた学習に取り組んでいます。この中では、重視したい学びの姿として「自分に合ったペースや方法で学ぶ」「多様な人と学び合う」「夢中で探求する」の三つが挙げられています。このうち、自分に合ったペースや方法で学ぶとは、子どもたちが、自分ひとりでじっくりとだったり、友達と仲良く話し合いながらだったり、先生と一緒にだったり…課題の解決方法を、自分で選択できるようにすることです。本年度は、この中でも特に、多様な人と学び合う機会をもつことができるよう、学校努力点として取り組みをしています。ペア学年での集会や、作品展でのペア学年による鑑賞活動もその一環です。また、5年生の米作りをはじめとして、特に総合的な学習の時間では体験活動を重視しています。子どもたち一人ひとりが学習課題をもち、試行錯誤しながら解決へと進んでいく学習に取り組んでいます。こうした学習には、「めあて」「まとめ」「振り返り」が大切です。子ども一人一人が学習で何ができるようになり、次の課題は何なのか、と振り返ることができるように指導しています。

市内の多くの小学校と同様に、本校でも短縮授業を実施しています。必要な学習時間は確保してありますが、そのために行事を縮小することについては、運動会の折にもたくさんのご意見をいただきました。子どもにとって体験活動の大切さは理解しております。行事に当たっても、子どもにとって何が大切なのかをよく検討していきます。

漢字や計算の定着ももちろん大切ですので、こちらでも取り組んでまいります。家庭学習でも引き続きご協力いただけたらありがたいと思います。

<子どもの支援について>

- ・不登校の子、教室に入れない子や、支援の必要な子に対しての対応を手厚くしてほしいです。支援員さんやスクールカウンセラーさんなど、困りごとを抱えている子やその親が気軽に相談できる環境があればうれしいです。
- ・外国籍の子どもたちが日本語や学校生活によりスムーズに慣れるように、サポートを充実していただけるとありがたいです。

・担任の先生が、不登校の子と関係が途絶えないようにとできるだけのことをしてくださり、ありがとうございます。

・先生から、子どもの自己肯定感が上がるような声掛けをしていただいたり、友達の良いところをお互い認めたりする活動をしていただけると嬉しく思います。

担任の先生方は、毎日様々な子どもの相談を行っています。それは、教室に入りにくい子に対しても同様です。本校には支援員さんもおおり、担任の先生と一緒に対応をしていただいています。必要に応じて担任を通してご相談いただけたらと思います。カウンセラー酒井さんも毎週水曜日に来校しています。子ども・保護者ともに、ご予約いただけますので、ぜひご利用ください。外国籍の子には、ご希望に応じて母語学習協力さんが来校し、対応してくださっています。高学年の子を中心に、初期日本語教室（学校外）へ通っていただくこともできますので、ご相談ください。

子ども達が、お互いに優しい言葉を掛け合うための取り組みや、友達の良いところを認め合うための取り組みについては、年度当初から職員間で、何かできないかと話し合っています。すでに取り組んでいるクラスもありますが、今後各クラスでより進めてまいります。

<暑さ対策>

・学校というより市に対してになるかと思いますが、猛暑対策を考えて欲しいです。夏休みを長くした方がいいのではないかと思います。

・体育館にエアコンが付くと良いです。

・残暑が厳しいので、夏休み明けも水泳の授業をして欲しいです。7月は雨で入れない日も多いので。

・放送室がとても暑いと言っています。扇風機があるようですが、壊れているそうです。熱中症になるといけないので、対策をしていただきたいです。

来年度も引き続き猛暑になりそうです。夏休みの期間は市の行事日程で決められているため、本校独自で延長することはできませんが、体育館のエアコンについては、先日ご案内の通り、本校でも現在、工事が進んでいます。プール指導については、全市的に夏休み前までとなっています。夏休み中の水質維持がコスト的に非常に厳しいことが原因なのかと思います。ご理解をお願いします。放送室はエアコンが無いので、設置してある扇風機の使用法を明示し、使えるようにしましたが、他にも方法がないか検討していきます。

<その他>

・できる限り、特に低学年の荷物が軽くなってほしいなと思います。

・巨大地震に備えてほしいです。例えば、まだ窓ガラスに飛散防止フィルムが貼っていないなら、貼ってもらうなど。

・遠足があると良いと思います。

・担任の先生がお休み中の為、子どもが先生に早く戻ってきてほしい、まだかなーと日々期待しています。今年度は担任が別の先生に変わりましたが、とはっきりしてもらえると、子どもも今の先生とちゃんと向き合え、心が落ち着く気がします。ご検討ください。

・このアンケートは、「子どもは」という聞き方ですが、学校で親がいない時の様子は全く分かりません。適当にアンケートすればいいのでしょうか。また、色々なお子さんがいます。親御さんがよくご存知かと思います。これをお時間かけて集計し、便りにすることは大変だと思います。先生方の働き方改革の意味も含めて今後ご検討されたいかがでしょうか。

様々なご意見ありがとうございました。いただいたご意見は、職員で共有し、どのようにしていけばいいのか検討してまいります。このアンケートですが、保護者の方が学校の取り組みに対してどの程度ご理解いただいているのかをお聞きするものです。項目としては、「子どもは」となっていますので、基本的に、お子さんのご家庭の様子、学校での様子を見聞きした範囲でお答えいただければと思います。お答えいただいたものを数値化し、今後の学校の取り組みを改善していくための判断材料にさせていただきます。集計は確かに大変ですが、ここで取り上げたご意見も含めて大切なものですので、お手数ですがこれからもアンケートには引き続きご協力をお願いしたいと思います。

学校関係者評価委員会では、以下のようなご意見をいただきました。

- ・健康な生活はできている。相対的に学習面で課題があると思う。学習は子どもの本分である。これからも力を入れて指導してほしい。子ども同士をお互いに切磋琢磨させ、さらに学力を高めてほしい。
- ・以前懇談会で、先生方がわが子の得意なことだけでなく、苦手な面も捉え、適切に助言をしていただいたことがありがたかった。学習支援アプリで、下学年の復習もできると聞いた。そうしたアプリをぜひ案内して活用してほしい。
- ・資料をよく見ると、運動に関する設問では、「まったく当てはまらない」と答えた児童の割合が全体の4.5%と多い。こう答えた子に着目し、何か支援ができるといいと思う。
- ・昔と変わったのは、子どもでなく親だと思う。親である自分以外の大人からわが子が叱られることを嫌がり、わが子を見る目は厳しくなった。自分の子のこころが足りない、と考えるより、子どもの成長に目を向けることや、先生や地域の力も借りて一緒に育てていくという考えも大切なのではないかと思う。家庭教育セミナーは親が学ぶよい機会のため、ぜひ参加してほしいと思う。

頂いたご意見・ご感想を参考に、引き続きよりよい学校に向けて取り組んでいきます。

11月		
22	土	
23	日	勤労感謝の日【第29週】
24	月	振替休日
25	火	県民の日学校ホリデー
26	水	SC たより発行 教育相談週間(～12/5)
27	木	2・4・6年特支 歯科健診 <u>学カアップ3年</u>
28	金	
29	土	
30	日	【第30週】

SC：スクールカウンセラー来校日(予定)

12月		
1	月	朝会(人権講話) 集金引落日 人権週間(12/4～10) <u>学カアップ4年</u> 3年校外学習(愛知県警)
2	火	委員会活動
3	水	SC 1・2年出前授業(ものづくり工房)
4	木	1・3・5年 歯科健診 <u>学カアップ5年</u>
5	金	
6	土	
7	日	【第31週】
8	月	<u>学カアップ6年</u>
9	火	クラブ活動 3年校外学習(ソレイユプラザ) 弁当
10	水	SC
11	木	分団会 <u>学カアップ3年</u> 4年歯科個別指導(授業後 該当者)
12	金	
13	土	
14	日	【第32週】
15	月	個人懇談会A4 13:35下校
16	火	個人懇談会A4 13:35下校
17	水	SC 個人懇談会A4 13:35下校
18	木	個人懇談会A4 13:35下校
19	金	個人懇談会A4 13:35下校
20	土	
21	日	【第33週】
22	月	給食終了 たより発行(冬休み・1月号)
23	火	終業式 一斉下校10:30
24	水	冬休み(～1/6)
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

学校努力点



楽しく学ぼう！みんなで学ぼう！



3年2組 社会「店ではたらく人」

スーパーで働く人たちの仕事について学んでいくにあたり、保護者アンケートの結果をもとに、お客さんがスーパーで働く人に対して、どんな「ねがい」をもっているかを考えました。

ロイロノートの共有ノート機能を活用して、どんな「ねがい」を考えたかを話し合い、友達の様々な考えに触れながら学習しました。その後、実際にスーパーに見学に行き、スーパーで働く人たちの様子を見て、お客さんの「ねがい」を叶える工夫を探ることができました。

4年2組 道徳「スーパーモンスターカード」

友達が万引きをしようとしているのを、止める勇気が出ず葛藤する主人公から、「正しいと思うことを行うために、大切なこと」について考えました。主人公の気持ちについて、「止めようとしたら仲が悪くなりそう」「けんかになりそう」「ほしい気持ちは分かる。」などと、様々な意見を交流しました。

主人公が友達にどう声をかけるとよいかを、ロイロノートの心情メーターに表すことで、活発に話し合い活動を行うことができました。